

建築物等状況報告書

年 月 日

（宛先） 松阪市長  
 松阪市建築主事  
 松阪市建築監視員

報告者 氏名

調査者 氏名

建築基準法第12条第5項の規定による報告をします。この報告書及び添付図書に記載の事項は事実と相違ありません。

建築主等	住所			
	氏名	電話 ( )		
設計者	住所			
	氏名	電話 ( )		
	資格			
工事監理者	住所	報告に係る建築物の当時の関係者 ※不明の場合は「不明」と記入		
	氏名		電話 ( )	
	資格			
工事施工者	住所	建設業の許可		
	氏名		電話 ( )	
調査者 (代理者)	住所			
	氏名	電話 ( )		
	資格	FAX番号も記入		
敷地の位置	地名地番	松阪市		
	用途地域		都市計画区域	内・外・準都市計画区域
	防火地域	準防火・法第22条地域	その他の地区	
主要用途			棟別用途	
工事種別		棟別工事種別		構造・階数
	報告部分	既設部分	合計	建ぺい率 %
敷地面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	容積率 %
建築面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	
延べ面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	
不適格部分の是正計画		是正予定 年 月 日 (不適格部分がない場合は記入不要)		
※受付欄			※消防関係意見	

(注)

1 ※印欄は、記入しないでください。

(裏面)

報告事項	報告事項の概要 (適格、不適格の検討結果)	是正方法 (不適格部分がある場合)
・接道 ・セットバック ・建ぺい率 ・容積率  ・用途  ・高さ  ・基礎  ・柱脚  ・柱の細長比  ・軸組み等  ・外壁及び開口部  ・屋根  ・採光  ・換気	1項1号道路 接道長さ m ⇒適格 中心から2m以上後退している ⇒適格 % ≤ 60% ⇒適格 % ≤ 200% ⇒適格  住宅用倉庫 非線引き都市計画区域内 ⇒適格  道路斜線等明らかに支障なし ⇒適格  コンクリートブロック造 ⇒不適格 ※H12年告示前なら既存不適格  アンカーボルト、ダブルナット⇒適格  □150×150×6 ⇒適格 柱の長さ、断面2次半径 200以下  材料のメンバー ⇒適格 ブレスの有無 等 (構造検討)  仕様：角波トタン 下地 P B 9.5 延焼のおそれのある部分あり ⇒適格 開口部 防火設備  仕様：切板葺き 法22条区域内 ⇒適格  検討資料添付 ⇒適格  検討資料添付 ⇒適格	基礎を鉄筋コンクリートに 改修 (詳細は図面添付)
総合所見	目視や昔の図面に基づき確認した結果、上記のように概ね適格であると 考えられるが、基礎については不適格であるため是正が必要である。	
添付図書	付近見取図 配置図 平面図 立面図 断面図 構造図 設備図 求積図 その他指示する図書	
その他添付書類	工場・危険物調書 棟別調書 基準時調書 顛末書 写真 その他指示する書類	